

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.6

開催地：山江村山田地区

平成 19 年 5 月 28 日（月）、山江村山田地区において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」を実施しました。農村環境改善センターにて開催された同報告会には、約 10 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。いただいたご意見等並びにご意見等への回答については下記のとおりです。なお、報告会の時に回答した内容が不十分であったところについては補足しています。

参加者数※

村内	9名
村外	3名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問	ご意見・ご質問への回答
<p>【河川整備基本方針の説明について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿の害で下草などがみな食べられてしまっている現状では、森林の洪水緩和機能は果たせないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本高水のピーク流量等の治水計画は、森林の存在を前提としていることから、治水上、河川管理者としても森林の保全は重要であると認識しています。 鹿の食害等により森林の状況が著しく変化すれば、森林の洪水緩和機能に影響を与える可能性もあることから、関係機関等が連携して、森林の保全に努めていく必要があると考えています。 国土交通省としては、河川事業において間伐材の利用を促進するなど、出来ることから取り組んでいきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> 基本高水流量は本当に 7,000 トン/秒まで必要か。 	<ul style="list-style-type: none"> 球磨川水系において目標としている治水安全度は、全国と同規模の河川と比較しても妥当な規模と考えられます。 この安全度に相当する基本高水のピーク流量について、全国の河川で一般的に用いられている手法で算出された人吉地点の基本高水のピーク流量 7,000m³/s が妥当な流量かどうかという議論が小委員会でもなされました。 具体的には、平成 18 年に川内川で降った雨が球磨川で降ったと仮定した場合の検討や歴史的洪水の検証など様々な検討を行ったうえで、7,000m³/s が妥当な流量との結論に至りました。 なお、宮崎県の大淀川、五ヶ瀬川では、過去 40 年程の間に基本高水のピーク流量相当の洪水は発生していなかったにも拘わらず、平成 17 年にこれを超過する洪水が発生しています。このようなことから、球磨川で基本高水のピーク流量 7,000m³/s 相当の洪水は起こり得るものと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> 基本高水と計画高水の差の 3,000 トン/秒はどうするのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 河道で安全に流し得る流量を検討した結果、人吉地点における計画高水流量を 4,000m³/s と設定しました。そのため、同地点の基本高水のピーク流量 7,000m³/s との差分 3,000m³/s については、ダムや遊水地等による洪水調節で対応することになります。 具体の洪水調節施設については、今後、河川整備計画を作成する際に検討していくこととなります。
<ul style="list-style-type: none"> 川内川で降ったような雨が球磨川水系に降ったら、具体的にど 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 18 年 7 月の川内川洪水で降った雨が、仮に球磨川で降った

<p>のような被害が生じるのか教えて欲しい。</p>	<p>場合には、人吉地点の洪水ピーク流量は約 7,800m³/s（氾濫等戻し流量）になると想定され、人吉地点の現況流下能力である約 3,600m³/s を大きく上回ることとなります。</p>
<p>・計画高水流量 4,000 トン/秒を超える洪水が過去に流れていることについてどのように考えるのか。</p>	<p>・今後の河道改修等も考慮したうえで、人吉地点で安全に流し得る流量は 4,000 m³/s です。 例えば、昭和 57 年 7 月洪水では、人吉地点において 5,000 m³/s を超える流量を記録していますが、このときのピーク水位は計画高水位を越えており、人吉市の一部では、氾濫による浸水被害が発生するなど、洪水が安全に流れたとは言えない状況であったと考えています。</p>
<p>・みんなで検証しあう形で議論する場を設けることを検討して欲しい。</p>	<p>・具体の整備内容等を定める河川整備計画の策定にあたっては、必要に応じて関係住民の意見を反映させる措置を講じるよう法律に定められており、今後とも住民の皆様のご意見をお聴きしてまいりたいと考えています。</p>
<p>【球磨川の治水対策について】</p>	
<p>・球磨川の掘削の結果、山田川の流れが速くなり、人吉層が露出してしまいう問題が生じている。球磨川の掘削を進めていくことには問題があるので、支川の状況を確認しつつ球磨川の整備を進めて欲しい。</p>	<p>・貴重なご意見有り難うございます。ご指摘のとおり、球磨川の掘削を行う場合、支川にも影響する場合がありますと認識しています。支川（山田川）の管理者である熊本県とも頂いた情報を共有させて頂き、今後策定する河川整備計画の検討や今後の河川整備の際の参考にさせていただきます。</p>
<p>・排水ポンプが活躍していることも一因かもしれないが、近年水害がなくなっている。球磨川、川辺川流域の危険な地域の方々には申し訳ないが、万江川の整備を何とかして欲しい。</p>	<p>・球磨川の人吉地区では、昭和 40 年以降、川幅を広げるなどの河川改修を行ってきたこともあり、水害は減少していますが、近年、計画高水位を超える洪水が頻発し、危険な状況にあることから、出来るだけ早く治水対策を進めていきたいと考えています。 ご指摘のあった万江川については、熊本県が管理する河川であることから、いただいたご意見は熊本県にもお伝えしました。</p>
<p>・ダムについては、農業の水が欲しいから賛成してきた。整備計画でダムが絶対必要というのはいかがかと思う。</p>	<p>・ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見は、検討の参考とさせていただきたいと考えています。</p>
<p>・万江川において万江小学校の上下流など砂利を取ってもらいたい。山田川でも砂利が堆積しているのではないか。</p>	<p>・報告会后、ご発言いただいた方と熊本県の担当者と一緒に現地を確認させていただきましたが、万江川及び山田川を管理する熊本県とも連携して今後の対応を検討していきたいと考えています。</p>
<p>【熊本県回答】</p>	
<p>・ダムは必要である。ダムで貯めることにより被害が少なくて済む。</p>	<p>・万江川、山田川の要望箇所については、他の河川の要望箇所との優先順位に配慮しながら、緊急性と効果の高いところから対応して参ります。</p>
<p>・ダムは必要である。ダムで貯めることにより被害が少なくて済む。</p>	<p>・ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見は、検討の参考とさせていただきたいと考えています。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・水田などを利用して水を貯めるようにしたらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水田を利用した遊水地等の具体的な施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見は、検討の参考とさせていただきますと考えています。 なお、現時点で遊水地を計画した場合、広大な面積の土地が必要となると思われることから、土地の所有者、特に農家の方々に与える影響は非常に大きいのではないかと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・25年前、水害時に鶏を飼っていたところに手伝いに行ったが、糞や糞であふれ、鶏が目の前で死んでいくすさまじい様子を目のあたりにした。洪水時は濁流だけではなくゴミも流れてくる。病気も出る。その恐ろしさは経験したのではないと分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な経験談をありがとうございます。住民の方々が安全で安心してお過ごしいただけるよう1日でも早く治水対策が出来るよう努力して参りたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・下流の住民の方はすごい怖い思いをしていると思う。ダムで安全にしてくれと思っているのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見は、検討の参考とさせていただきますと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・現場の状況をしっかりと把握した上で整備計画を作って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川整備計画の策定にあたっては、多くの方々のご意見をお聞きしながら、現場の状況をしっかりと把握した上で、進めていきたいと考えております。
<p>【球磨川の環境について】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・堤防をつくる際には、川へ降りていける道など川と親しめる空間づくりを検討して欲しい。 ・今は川に水が少ない。昔は水浴びするくらい水量があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいたご意見は、山田川を管理している熊本県にお伝えしました。 ・いただいたご意見は、山田川を管理している熊本県にお伝えしました。
<p>【その他】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・上流域の水利権を返してもらえないか。水道、農業、林業、グリーンツーリズムなど様々な形で万江川を活用したいと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水利権については、詳細を確認したうえで、改めて説明させていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・大雨が降ると、U字溝から川そして海へものすごい勢いで流れていってしまう。水は大切なので早くダムを作って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダムなどの具体の施設の整備については、今後、河川整備計画を策定する際に検討することとなりますので、いただいたご意見は、その際の参考にさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・去年は山江でも大雨が降ったが、断続的に降ったため、避難命令を出そうとすると水位が下がるということの繰り返しだった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省では、これまでも洪水時に雨量や河川の水位等の情報を地元市町村に随時お知らせし、市町村における避難勧告の発令等の参考にさせていただいているところですが、今後とも、的確かつ迅速な情報提供に努めていきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・山田川の流域、小河川の問題等々については、誰に伝えたらいいのか。県にも報告会に参加して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山田川に関していただいたご意見は、管理者である熊本県にお伝えしました。また、熊本県に参加してほしいとの要望があったこともお伝えしました。なお、報告会の中で具体の場所について指摘があった案件については、報告会の後、発言された方、熊本県、山江村と一緒に現地を確認させていただきました。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ 誹謗中傷するような発言については掲載しておりません。